

(午前)昆虫に触ってみよう! (午後)鱗粉転写

7月22日(土) 10:00~11:30 / 13:00~14:30

★ 参加人数 (午前) 子ども11名、大人8名 (午後) 子ども10名、大人7名

1. 昆虫に触れてみよう!

(お話し)

- ・オスとメスの見分け方 (セミ・クワガタムシ・カブトムシ・トンボ・カミキリムシ)
- ・クワガタムシの種類 → オスとメスが半分ずつ
- ・ダンゴムシの紹介
- ・きれいな昆虫紹介 (ミヤマカラスアゲハ・オオムラサキ・ヤマトタマムシ)
- ・絶滅しそうな昆虫の説明
- ・外来昆虫の説明

(体験)

- ・きれいな昆虫「ヤマトタマムシ」の標本に触った後、実際に触れ合い体験
- ・カブトムシ・クワガタムシとの触れ合い
- ・自分の好きなクワガタムシを自分で捕まえて飼育ケースに入れて持帰った。

2. 昆虫の不思議と実践「鱗粉転写」

(お話し)

- ・昆虫採取の注意と虫の捕り方→網の種類の説明
- ・昆虫が集まる場所→樹液に集まる昆虫
- ・美麗種について
- ・採った昆虫の保存方法 (乾燥標本・液浸標本・鱗粉転写)
- ・鱗粉転写について

(体験)

- ・鱗粉転写



3. 参加者の声

- ・クワガタムシを捕まえようとしたら、角を上げて威嚇してきた。
- ・ヤマトタマムシは、身体全体がキレイ。足の先まで輝いている。
- ・ナナフシモドキを初めて知った。捕まえようとするとき枝に擬態するだけでなく、自分の足を自切して逃げると聞いて驚いた。
- ・蝶は、菜っ葉なら何でも食べると思っていた。蝶の種類によっては、食べる葉っぱが違うことを知った。
- ・鱗粉転写は、長く保存出来るから大切にしたい。
- ・普段見ることがない昆虫採集の道具を見ることが出来た。
- ・昆虫について、知識を得ることが出来た。
- ・鱗粉を取る際に、羽の骨のようなものを感じた。力を込めるとパキパキと音が鳴った。
- ・鱗粉を取った後の羽は薄くて、呼吸をするだけで飛んで驚いた。
- ・夏休みの宿題ができて良かった。

